



風土と地形を体感する旅へ

# 土木遺産な旅のススメ

301枚の写真と、土木の物語  
今、確かめたい旅がある

近世から昭和期において、先人たちが各時代の最先端の技術や叡智を結集し、後世のために築き上げてきた数多くの「土木遺産」。その地で生きていくことを選んだ人びとの思いの結晶であり、今日まで保たれた歴史が刻まれています。その土地の抱える制約解決のために選び抜かれ、まさに、その場所に設けられた「土木遺産」に焦点をあてた旅のススメ。

この一冊を手に、自然と人を繋ぐ土木技術と、歴史を解き明かす旅へとでかけませんか。

● 土木遺産な旅づくりに関するお問い合わせは

一般社団法人九州地域づくり協会

福岡市博多区博多駅東 2-5-19 サンライフ第3ビル 4F  
TEL 092-476-5680 (企画部)



300ページの「土木遺産な旅のススメ」  
DIGITAL BOOK 公開中  
写真/熊本県阿蘇市 ミルクロード



# 土木遺産な旅のススメ

風土と地形を体感する旅へ

## 未来が見えてくる

「土木遺産って何?」という方々。「土木って何をする仕事?」、「遺産って、何だか難しそう」という方々に、ぜひ本書を手にとり取っていただき、まちづくりや地域おこし、子ども達の地域学習に役立てていただきたいと考えています。土木構造物や土木に関わってこられた、また現役で関わっておられる方々。こちらは「旅」を通して、皆さんが今まで関わってこられた土木を経巡っていただきたいと思います。先人達の足跡をたどることで、これからの未来が見えてくる、そう考えているのです。

(巻頭『土木遺産な旅の醍醐味』より)

● 土木遺産活用策検討委員会  
ワーキンググループ 委員長

熊本大学大学院 先端科学研究部  
准教授 田中 尚人



近世から昭和期において、先人たちが各時代の最先端の技術や叡智を結集し、後世のために築き上げてきた数多くの「土木遺産」。その地で生きていくことを選んだ人びとの思いの結晶であり、今日まで保たれた歴史が刻まれています。その土地の抱える制約解決のために選り抜かれ、まさに、その場所に設けられた「土木遺産」に焦点をあてた旅のススメ。

その技術と、歴史を知ると、地域の魅力も味わい深いものとなり、日々の暮らしの風景も違って見えてきます。この一冊を手にも、自然と人を繋ぐ土木技術と、歴史を解き明かす旅へとでかけませんか。

# 301枚の写真と 土木の物語 今、確かめたい旅がある



A5版・300ページ

編集・制作／土木遺産活用策検討委員会  
発行／一般社団法人九州地域づくり協会

福岡市博多区博多駅東 2-5-19  
サンライフ第3ビル 4F  
TEL 092-476-5680 (企画部)



「土木遺産な旅のススメ」  
DIGITAL BOOK 公開中  
表紙写真／熊本県阿蘇市ミルクロード



## 土木遺産は語り始める

土木遺産は寡黙です。しかし、その土木構造物があればと願い、動いた地域があり、現場に挑んだ技術者や、命をかけて工事に挑んだ人びとが作りあげ、手入れされながら、まちはできている。そう気づいて問いかけると、たくさんの物語を語り始めます。九州は実に広く、ご紹介できる土木遺産はほんの僅かでしたが、構造物のジャンルや地域を越えて編むことを試みました。ページをめくり、301点に及ぶ写真や資料も楽しみつつ、「土木遺産な旅」を思い立っていただけたら幸いです。(あとがきより)

● 同副委員長

『土木遺産な旅のススメ』編集長  
地域デザイナー 高山 美佳